

県立特別支援学校における家庭での
学習保障に関する参考資料

令和2年5月8日

岡山県教育庁特別支援教育課

1 本参考資料の目的と取扱いについて

現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、県立特別支援学校では長期間にわたって臨時休業となっています。各学校においては、在籍する幼児児童生徒（以下「生徒等」という。）の実態に応じて、臨時休業中の学びの保障等について取り組んでくださっていることと思います。

臨時休業中であっても、様々な工夫を行いつつ、引き続き生徒等の学習を保障していくことが重要です。国の通知（※1）では、臨時休業中に最低限取り組むべき事項として次の三点を挙げています。

ア) 学校が課す家庭学習の充実

各教科等において、主たる教材である教科書及びそれと併用できる教材等に基づく家庭学習を課すこと。

イ) 児童生徒の学習状況の随時把握

教師が定期的に個々の生徒等との間で電子メール等のICTや電話、郵便等を活用した学習状況の把握を行うこと。

ウ) ICTの最大限の活用

ICT環境の積極的な活用に向け、あらゆる工夫をすること。

上記に基づき、県立特別支援学校に在籍する全ての生徒等に対して、その実態に応じた学習保障を行う必要がありますが、特に知的障害部門における学習保障の在り方については、知的障害の実態の多様性や使用している教材等の状況から悩まれる場合もあるのではないかと思います。

本参考資料は、知的障害部門における臨時休業中の学びの保障や家庭学習支援を検討される際の手がかりとなる参考資料として作成しました。各学校においては、本参考資料も御活用いただき、引き続き家庭学習の支援に取り組んでくださるようお願いいたします。

（※1）令和2年4月21日付2文科初第154号初等中等教育局長通知「新型コロナウイルス感染症対策のために小学校、中学校、高等学校等において臨時休業を行う場合の学習の保障等について（通知）」

2 家庭学習の実施方法について

(1) 家庭学習を課す場合の基本的な考え方について

家庭学習における目標や学習内容は、個別の指導計画を踏まえて、個々の生徒等の実態に応じた目標を設定することが基本です。その際、後述の家庭学習実施例を参考として、特定の教科に偏ることなくバランスよく家庭学習の内容を設定することが望ましいです。その上で、家庭学習を円滑に行うための教材等を準備し、保護者等に提供するようにします。臨時休業の期間が終わり、学校が再開されたときに、生徒等が次の学習内容にスムーズに取り組むことができるためにも、個別の指導計画を踏まえ計画的に家庭学習を課すことが大切です。

なお、国の通知（※2）では、学校が課す家庭学習が「①教科等の指導計画に照らして適切に位置付くものであること。②教師が当該家庭学習における児童生徒の学習状況及び成果を適切に把握することが可能であること。」の要件を満たす等、一定の条件を満たす場合には、当該内容を再度学校における対面指導で取り扱わないこととすることができることも示されています。

(2) 学習状況の随時把握及び学習支援について

教師が生徒等の学習状況を随時把握し、指導に生かしていくことが重要であるため、教師が定期的に個々の生徒等との間で電子メール等のICTや電話、郵便等を活用した学習状況の把握を行うことが大切です。また、登校日等の際に課題を提出させる等して、生徒等の学習の習得状況を確認し、継続的に家庭学習支援を行っていくことが必要です。

(3) 教員による評価及びフィードバック

家庭学習の内容についても、上記の随時把握に基づき、教員による評価を行う必要があります。目標や学習内容の設定だけで終わることなく、学校再開後に授業において発表や振り返りの機会等も行うこと等を通して、家庭学習の成果について評価することが大切です。学習の過程や成果を適切に評価することで、生徒等の学習意欲の向上も期待できます。

（※2）令和2年4月10日付2文科初第87号初等中等教育局長通知「新型コロナウイルス感染症感染症対策のための臨時休業に伴い学校に登校できない児童生徒の学習指導について（通知）」

3 知的障害のある子どもの家庭学習の実施例

各教科ごとに家庭生活を想定した学習内容・活動を例示しています。各校においては、「岡山県特別支援学校における知的障害のある児童生徒の指導内容表」を参考にして、子どもの実態に合わせた内容を考えるとよいと思います。また、高等部や中学部の重度の生徒で、当該段階の内容が難しい場合は、中学部や小学部の内容を参考にしてください。その際、理科や社会の取扱いについては、小学部の生活の内容を参考にしてください。

家庭学習を行う方法としては、子どもの実態に合わせて各校で選定した主たる教材である教科書の活用を第一としながら、具体物を用いた教材や学習プリント、ICT活用等、子どもや学校、家庭の実態に合わせて柔軟に取り組んでください。

学習評価が重要になりますので、登校日に確認したり、必要に応じて保護者に課題に取り組む様子を聞き取ったりするなどしながら評価につなげていく必要があります。

小学部

【生活】

基本的な生活習慣	食事の手伝いや配膳、食後の片付けをする。
	自分で衣服の着脱をする。
	身の回りの整理をする。
安全	安全に気を付けて道路を横断する。
	コロナウイルス防止に気を付けてマスクを着けて生活する。
日課・予定	一日の予定に沿って行動する。
遊び	簡単なルールのある遊びをする。
人との関わり	家庭生活の中で、挨拶や御礼等をする。
	見慣れた人の写真を見る。
役割	家族と一緒に簡単な買い物をする。
手伝い・仕事	家庭の中で簡単な掃除をする。
金銭の扱い	買い物をする。
きまり	決まった場所で遊ぶ。
社会の仕組みと公共施設	地域の名称や、住所を知る。
生命・自然	庭の花や野菜に興味をもち、水やりをする。
	天気調べをする。
ものの仕組みと働き	荷物運びをする中で、重い・軽いというものがあることに気付く。

【国語】

鉛筆やクレヨンなどを使って線を引いたり、なぞり書きをしたりする。

簡単な文や説明を聞いて、行動する。
一緒に絵本などを見て、対象に指さしをしたり、違いに気付いたりする。
昔話や童謡を聞いて模倣する。
教師からの電話を受けて、決まった言い方をする。
身近な事物や事象を表す平仮名を読む。
簡単な読み物に出てくる促音、長音等の含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字を読む。
伝えたいことを身振りや音声で伝える。

【算数】

映像を見たり歌を聞いたりして注意を向ける。
名前を聞いてそちらを見る。
一対一対応をする（食事の準備等）。
切片パズルをする。
仲間集めをする。
10までの数と物を対応して数える。
計算プリントをする。
食器類を目的や用途に着目して分ける。
体験的な活動を通して、長短、高低等が分かる。
ゲーム活動で○×を用いて表を作成する。
色、数、形等についてマッチングする。

【音楽】

聞き慣れた教師の声や学級、グループの歌を聞く。
音楽に合わせて、声を出したり、身体を動かしたりする。
音楽を聞いて、特徴的なリズムを手拍子等で表現する。

※歌唱教材は学習指導要領に示すものを参考にしてください。

【図画工作】

身近な物に触れたり、香りを嗅いだり、手指を動かしたりする。
クレヨンや絵の具の色を選びながら自由画を描く。
粘土をちぎったり、伸ばしたりして、素材の変化を楽しむ。
身近な人や動植物を題材に表現する。
素材そのものの変化を楽しむ（破る、並べる、穴を空ける等）。

【体育】

歩いたり走ったりする。
ラジオ体操をする。
ボールを転がしたり、止めたりする。
毎日自分で手洗いやうがいをする。
体調の良し悪しを伝える。

中学部

1日の流れの中で

- ・1日のスケジュールを確認し、スケジュールに沿って行動する。(社会)(自立活動)
 - ・スケジュールにしたことを記入していく。(国語)
 - ・スケジュールどおりに過ごせたら、それぞれの枠に○をつける。できたら表○の数をグラフに写す。(○を行ったお手伝いや約束が守れた数に変更可。)
(数学) 職業家庭 自立活動
 - ・日記を書く。(国語)
 - ・次の日のスケジュールを考えて、記入する。(国語)(自立活動)
- ※記入したものを写真に撮って、学校にメール等で送付し、教師が返事を返すことも可能です。

季節行事に関連して

- ・鯉のぼりの絵を描く。(美術)
- ・鯉のぼりの歌を歌う。(音楽)
- ・鯉のぼりの歌に合わせて踊る。(体育)
- ・町にある鯉のぼりをさがして、数える。(数学)
- ・鯉のぼりを見つけた場所を地図で探し、印をつける。(社会)

国語

- ・先生に手紙を書く。
 - ・友達に手紙を書く。
- ※手紙に返事を書くことも可能です。

数学

- ・電卓で家計簿をつける。

体育・保健体育

- ・コロナについて調べる。
- ・体調記録をつける。※自立活動として扱うことができる生徒もいます。

高等部

生徒へ提供された新型コロナウイルス感染症感染症対策について新聞やニュース動画を見て、それをもとに自治体ごとに情報を整理したり、自分の生活との関連について考えたりする。
・社会「公共施設と制度」 ・考えたことを文章で書けば国語の「書く」、話せば国語の「聞く・話す」の内容を押さえることも可能
スーパーで割引シールと定価シールの貼られた商品画像をアップし、割引後いくらになるか計算する。
数学「変化と関係」
畑の畝のような部分に水を流し続ける動画を見て、流れる水の働きや土地の変化について推測する。
理科「地球・自然」
ZOOM 等のアプリを使って合唱をする
音楽「歌唱」
教師が美術作品を制作する様子を動画で配信し、それを見て感じたことなどを発表する
美術「鑑賞」
相撲の基本動作に関する動画をアップし、その動きをやってみる。可能であれば、情報端末機器にその様子を録画しておき、評価してもらう。
保健体育「武道（相撲）」
情報端末機器を使い、自分の学習する様子をまとめる。
職業「情報機器の活用」
学校のホームページに紹介された動画リストを参考に、休業中の健康管理や余暇時間の使い方について考え、実際に行う。
家庭「家族・家庭生活」
ZOOM 等のアプリを使った朝のホームルームの一部分で簡単な英語でのやりとりを行う。
外国語「話すこと（やりとり）」
ZOOM 等のアプリを使い、自分が不安に思っていることを伝えたり、教師とやりとりをして対処方法を考えたりする。
自立活動「心理的な安定等」
技能検定のVTRを観ながら各種目に取り組む。
職業、流通・サービス

【デジタルコンテンツ紹介】

	■文部科学省 子供の学び応援サイト
URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm
内容	幼児、小学生、中学生、高校生対象の学習コンテンツ（リンク集）
	■徳島県立総合教育センター
URL	https://kyozai.tokushima-ec.ed.jp/ 特別支援教育課/
内容	コミュニケーションスキル、マッチング、仲間分け、パズル、工作、外国語、調理、キャリア教育、ひらがな・かたかな、数の合成・分解、タイピング、絵本
	■ICT教材eboard（イーボード）
URL	https://www.eboard.jp/list/
内容	小学校（算数科、漢字）、中学校（5教科）
	■おすすめキッズサイト 一般社団法人教科書協会
URL	https://www.textbook.or.jp/question/kids-site.html
内容	小学校（5教科）、中学校（5教科）、音楽、生活など
	■スポーツ庁 子供の運動あそび応援サイト
URL	https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop03/list/detail/jsa_00012.html
内容	運動あそび、ダンス、健康促進エクササイズ
	■NHK NHK For school
URL	https://www.nhk.or.jp/school/
内容	幼稚園・保育所・小学校・中学校・高等学校・特別支援教育に関する学校放送番組やウェブサイト、アーカイブス、イベントなど
	■microsoft 学習に困難のある子どもの ICT 活用情報
URL	https://www.microsoft.com/ja-jp/enable/study
内容	学習に役立つツールと活用例、学習に役立つ資料（特別支援教育向け Windows ストアアプリ一覧など）
	■大阪教育大学附属特別支援学校小学部 大阪教育大学特別支援教育講座 井坂行男 知的障害特別支援学校におけるデジタル教材の活用および支援的方法の実践について
URL	https://www.fuzoku-se.oku.ed.jp/digital/index.html
内容	デジタル教材

	■楽しむ、分かる、役立つ！（独立行政法人国立特別支援教育総合研究所）
URL	http://www.nise.go.jp/wakaru/index.html
内容	「ひらがな、カタカナ、漢字」と「数、計算、レクリエーション」に分かれた、動画を含めた教材集
	■臨時休業中の学習おすすめサイト（宮崎県教育研修センター）
URL	https://cms.miyazaki-c.ed.jp/center19/htdocs/?page_id=13
内容	絵本、自立活動、国語、算数
	■特別支援教育のための教材（特別支援教育デザイン研究会）
URL	http://www.e-kokoro.ne.jp/ss/1/#
内容	デジタル教材